

大学院看護学研究科のディプロマ・ポリシー

博士前期課程

研究者養成コース

博士前期課程では、所定の期間在学し、所定の単位を修得するとともに、学位論文審査に合格し、以下の要件を満たしたと認められる学生に対し、修士（看護学）の学位を授与します。

1. 高い倫理観と広い視野で看護の課題を科学的に探究し、患者及び家族・住民が自ら課題解決を図れるように、介入できる看護実践能力を備えている。
2. 長期的展望をもって、患者及び家族・住民の状況を踏まえた最適な保健・医療・福祉サービスを統合して提供できるよう、多職種他機関とのコーディネート能力を備えている。
3. 過疎・高齢化が進展する中山間地域・離島における健康課題に関心をもち、課題解決に向けて主体的に取り組む能力を備えている。
4. 問題意識をもって看護現象を分析し、論理的に探究できる研究力を備えている。

高度実践者養成コース（助産学領域）

博士前期課程高度実践者養成コース助産学領域では、所定の期間在学し、所定の単位を修得するとともに、課題研究論文審査に合格し、以下の要件を満たしたと認められる学生に対し、修士（看護学）の学位を授与します。併せて、助産師国家試験受験資格も与えられます。

1. 高い倫理観と明確な看護観をもち、科学的根拠に基づいた優れた判断力と実践力を備えている。
2. 離島・中山間地域をかかえる島根県の周産期医療を維持するために、ハイリスクケアを含むすべての症例に助産ケアを提供できる優れた助産実践能力及び指導的能力を備えている。
3. 地域社会の子育て世代とその家族の健康課題を理解し、包括支援ができるための優れた助産実践力、多職種多機関とのコーディネート力を備えている。
4. 助産学における課題を論理的に解決できる研究能力を備えている。

高度実践者養成コース（診療看護師（NP）プライマリ・ケア領域）

博士前期課程高度実践者養成コース診療看護師（NP）プライマリ・ケア領域では、所定の期間在学し、所定の単位を修得するとともに、研究論文審査に合格し、以下の要件を満たしたと認められる学生に対し、修士（看護学）の学位を授与します。併せて、一般社団法人日本NP教育大学院協議会の診療看護師（NP）資格認定試験の受験資格も与えられます。

1. 在宅、施設、慢性期病棟などで、療養者の状態変化や、慢性疾患をもつ患者に対して、看護学と医学の視点から包括的なアセスメントを行い、的確な臨床判断、治療の管理、治療効果の評価を自律的、かつ必要に応じて多職種と協働で実施できる能力を備えている。
2. 個人や家族の価値観、意思決定を重視してQOL（生活の質）向上を目指し、倫理に基づく、統合的なプライマリ・ケアが提供できる能力を備えている。
3. 多職種と協働して安全・安心な医療に貢献できる能力を備えている。
4. 実践の場にある課題について、論理的に探究できる能力を備えている。

博士後期課程

博士後期課程では、所定の期間在学し、所定の単位を取得するとともに、学位論文審査に合格し、以下の要件を満たしたと認められる学生に対し博士（看護学）の学位を授与します。

1. 看護専門職者として必要な高い倫理観と論理的思考力をもち、看護学の発展に寄与する研究を自律して行える。
2. 生涯にわたり研鑽の必要な看護教育学に精通し、高度な専門的知識・技術と教育指導力をもって質の高い教育を展開できる。
3. 過疎・高齢化が進展する中山間地域・離島地域における健康課題を把握し、健康栄養など地域のニーズに合った保健・医療・福祉施策の進展に向けた研究的取り組みができる。
4. 看護ケアが提供される場に関与する多様な要因を把握して、看護提供システムの改善・改革を目指した研究を指導できる。
5. 看護の専門分野における多様かつ複雑な問題の研究的解明とその成果を適用しつつ、多職種と連携し研究活動を推進できる。